



日刊新聞の目録... 本紙の発行所... 昭和十三年三月八日

平の十二年生産高 総額五百四萬四千圓

一戸當八七三圓一人當一五三圓

平市に於ける昨十二年度の諸生産高は農、工、畜、水、林を合せて五百四萬四千五百九十九圓を算し各産高及び其の主なるものを上げれば

農産四一九三六五圓(主なるもの米一五二七七五圓、蔬菜及び花卉六九七四八圓、果樹三三四四圓、春夏秋盤二四二九四圓)工産五五二二七二圓(主なるもの蠶糸類九八二〇八〇圓、酒一四九七九五圓、醤油一六六五〇〇圓)畜産七三三〇九圓(主なるもの鶏卵三二〇九七圓、鶏一四六一四圓)水産三〇七〇〇圓、林産七九八八圓(主なるもの用材四一六圓)

これが現任一戸當り八七三圓八三錢、一人當り一五三圓七七錢前年の總額は三三三二一七二圓、同一戸當り六一一圓一三錢、一人當り一一〇圓三〇錢である

平市會

平市會は既報の如く今三日前後一時から開會左記の諸件を決議した
▲十三年年度算正 市立學校体育運動設備使用規則制定 教員慰勞金給與平一校訓導横田瀧澤轉任へ三十

双南産の茶種激増

昨年より一躍五百俵増加

双葉郡南部に於ける茶種栽培の増加は昨紙にも報じたが同方面昨年の收獲は概々一千俵に止まつたものを本年は來る十一月の平農産會館に於ける第一回共同販賣に對して既に左記九百八十七俵の出荷申込みがあり尙ほ増加を豫想されて一千俵を超えるものと見られてゐるが引續き回を重ねて行はれる共販の終りまでには千五百俵に達するものと云はれてゐる

知事鮫川堰視察 明日正午到着

上野野村取水口へ

君島知事の鮫川堰水利工事視察は既報の如く明四日の雪だか知事の一行は同水利の管理者富澤事務官、耕地課員一名で石城郡上野野村の取水口に到着午後二時十分の豫定で石川郡から御齊所峠を自動車で來郡する前記取水口着正午に變更され従つて視察日程も二時間餘づゝ遅れる模様

赤井駐在所 今日落成式

石城郡赤井村赤井巡査駐

本日(八)の落成式は三〇度と満洲の雪と比べますと大したこともありませんが併し相宜なもので、こう頭から熱せられては馬鹿になるのも無理はないと思ひました、此處は先き程申し上げました御山砲台で有名な舊官部の對岸、津浦線の起點です、悠遠の神秘をこめて流れる揚子江に引け暮れ親んで居りますが、百年待河清の語原の産地だけあつて實に素晴らしい汚ない河です、支那の詩人はよくこれで詩情が浮んだもので、もつともよく晴れた日の朝夕は深い空の色をうつして美しく見えますので支那の詩人もさう言ふ時に詩を歌つたのかも知れませんが、河中は約一キロ此處から先きは又ひろくなつて居ります、其の中央の少し南京寄りには〇〇を押しやる様に無旗の〇〇が碇泊して居り

江尻伍長戦死

石城郡泉村出身

★江尻伍長、石城郡泉村出身、石田部隊に屬し第一戰線に活躍されてゐたが七月五日山西省の戦で名譽の

常職講座

認可とは當事者の行為に國家の同意を與へて其行為を有効に成立せしむる行政處分、即ち其行為が國家の同意を得るに非れば法律上の効力を生じないものに對して爲す補充的處分

常職講座

在所の腐敗は既報の如く工事中であつたが此の程落成今日午後一時新館舎に於て竣功祝賀式を舉げた同館舎は所は最初一千六百圓の豫算であつたが地元民の寄附支出により約二千圓を要し縣下籍なるモダンを應合である、式場にて賛助者野崎滿藏氏外三十名及び左記百圓以上の寄附者に對して警察部長から感謝状を贈られた

軍用犬會員倍加の運動

支那事變戰線の擴大と共に軍用犬の活躍益々目ざましきものあり之れが資源開發のため社団法人帝國軍用犬協會では會員倍加の運動を起し目下全國各地に加入者を勧誘されてゐるが希望者は東京市神田區一ツ橋二の九教育會館内の同協會に照會あれば規則書を送附する由

天候不順から 梨の黒班病

石城梨の主産地平市平窪の梨園に黒班病が發生した本年は降雨勝ちな天候不順から熟期に近づいて同病被害稍々多い模様であるがホルド液の撒布で大部分喰ひ止め得るものと如く同病は「びやくしん」に好んで棲息するので果樹園附近に同樹がある場合は成るべく取除くことが發生防止に多大の效果がある

某事件の解禁

其の筋から掲載を禁止されてゐる〇〇黨關係の事件は來る五日解禁される模様であるが石城地方には濃厚な關係者がなさうである

慰問袋を寄託

平市三丁目カフエー平會館主高田まささんは皇軍將士に贈る慰問袋一個を今三日市校所に寄託した

臨海校より

第二報 於四倉海岸
何時頃だつたか物凄く早く目のさめた人達がもう前から騒ぎ始めて先生の御注意を受ける、起床五時、ラヂオ体操

久實院の新盆に相當りますが時節柄乍勝手提灯其の他供物等御贈與の儀固く御辭退申上ます

昭和十三年七月 大谷 武雄

雄魂院(故利雄)儀新盆に相當り候處誠に勝手がましき候へども時局柄提灯其他供物等一切御贈與の儀固く御遠慮申上度候、右不惡御諒承願上候、敬具

平市一丁目 菅 本庄 治
昭和十三年七月

殉忠院(故亀太郎)儀新盆に候處時局柄提灯その他佛前の供物御贈與の儀固く御遠慮申上候、右不惡御諒承願上候、敬具

平市研町 金成 ヨシ
昭和十三年七月

平第一校の臨海校より

第二報 於四倉海岸
何時頃だつたか物凄く早く目のさめた人達がもう前から騒ぎ始めて先生の御注意を受ける、起床五時、ラヂオ体操

久實院の新盆に相當りますが時節柄乍勝手提灯其の他供物等御贈與の儀固く御辭退申上ます

昭和十三年七月 大谷 武雄

雄魂院(故利雄)儀新盆に相當り候處誠に勝手がましき候へども時局柄提灯其他供物等一切御贈與の儀固く御遠慮申上度候、右不惡御諒承願上候、敬具

平市一丁目 菅 本庄 治
昭和十三年七月

殉忠院(故亀太郎)儀新盆に候處時局柄提灯その他佛前の供物御贈與の儀固く御遠慮申上候、右不惡御諒承願上候、敬具

平市研町 金成 ヨシ
昭和十三年七月

平第一校の臨海校より

第二報 於四倉海岸
何時頃だつたか物凄く早く目のさめた人達がもう前から騒ぎ始めて先生の御注意を受ける、起床五時、ラヂオ体操

久實院の新盆に相當りますが時節柄乍勝手提灯其の他供物等御贈與の儀固く御辭退申上ます

昭和十三年七月 大谷 武雄

雄魂院(故利雄)儀新盆に相當り候處誠に勝手がましき候へども時局柄提灯其他供物等一切御贈與の儀固く御遠慮申上度候、右不惡御諒承願上候、敬具

平市一丁目 菅 本庄 治
昭和十三年七月

殉忠院(故亀太郎)儀新盆に候處時局柄提灯その他佛前の供物御贈與の儀固く御遠慮申上候、右不惡御諒承願上候、敬具

平市研町 金成 ヨシ
昭和十三年七月

